

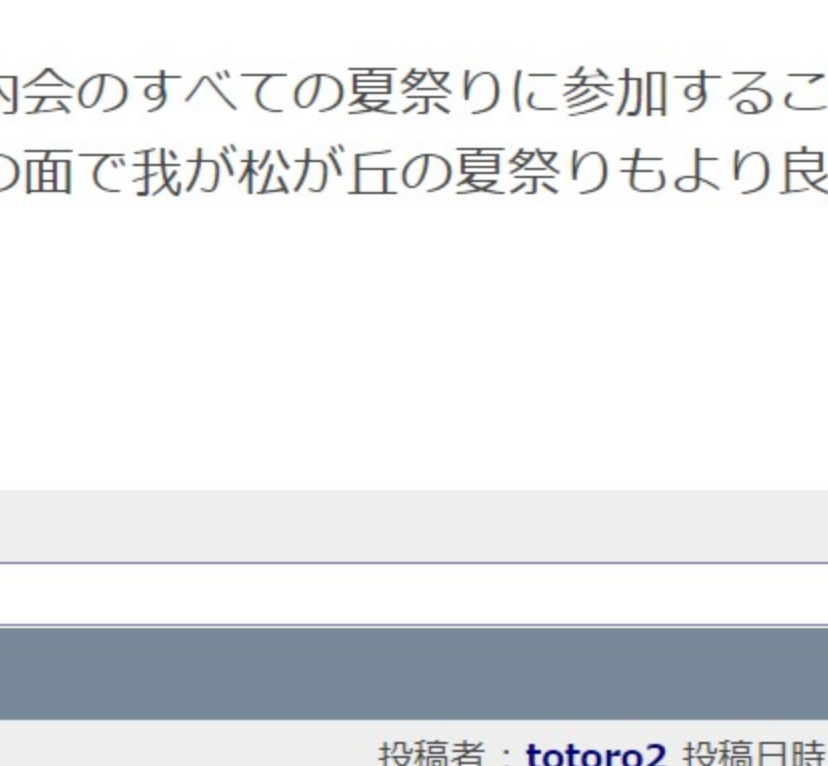
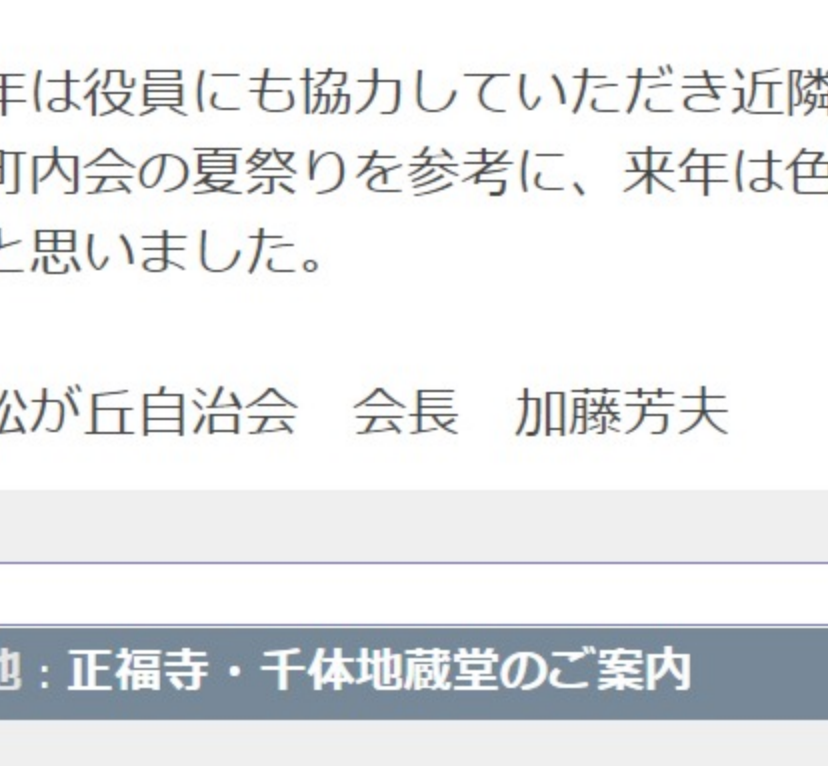
8月25日（土）、長久寺の境内で行われた久米下組町内会納涼祭は、お囃子（はやし）や太鼓で始まりました。



例年、雨に遭うことが多いらしいのですが今年は“晴れて良かった”と久米下組の新原会長さんがおっしゃっていました。境内にはたくさんの方々が特設ベンチにすわり、楽しそうに聞き入っていました。



盆踊りは無いのですが、ベンチにすわってお囃子を見ながら飲食できるのも落ち着いていいなあと思いました。



廻りには、焼きそば、焼きイカ、焼きとうもろこし、フライドポテト、ポップコーン・・・などたくさんのお店が並び、中学生が中心になって暑い中、一生懸命販売していました。参考になったのは、お店のテントが設営の簡単なフレーム方式で作られていることです。

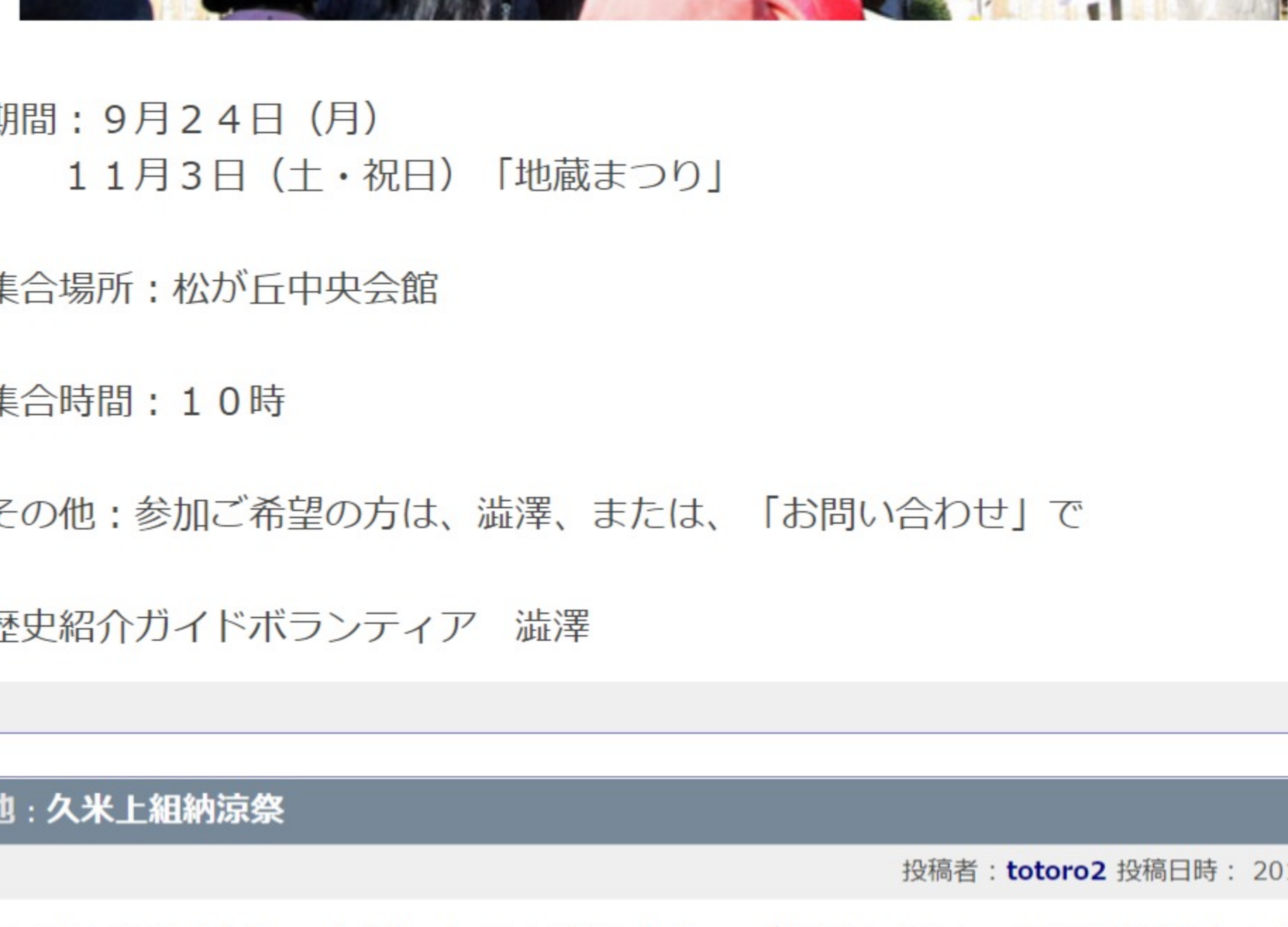
今年は役員にも協力していただき近隣町内会のすべての夏祭りに参加することが出来ました。他の町内会の夏祭りを参考に、来年は色々な面で我が松が丘の夏祭りもより良いものにしていきたいと思いました。

所沢松が丘自治会 会長 加藤芳夫

コメント

4.その他：正福寺・千体地藏堂のご案内

東村山市野口町という身近にある国宝建造物のご開帳日に行ってみませんか。



- 1. 期間：9月24日（月）  
11月3日（土・祝日）「地藏まつり」
- 2. 集合場所：松が丘中央会館
- 3. 集合時間：10時
- 4. その他：参加ご希望の方は、湍澤、または、「お問い合わせ」で

地域歴史紹介ガイドボランティア 湍澤

コメント

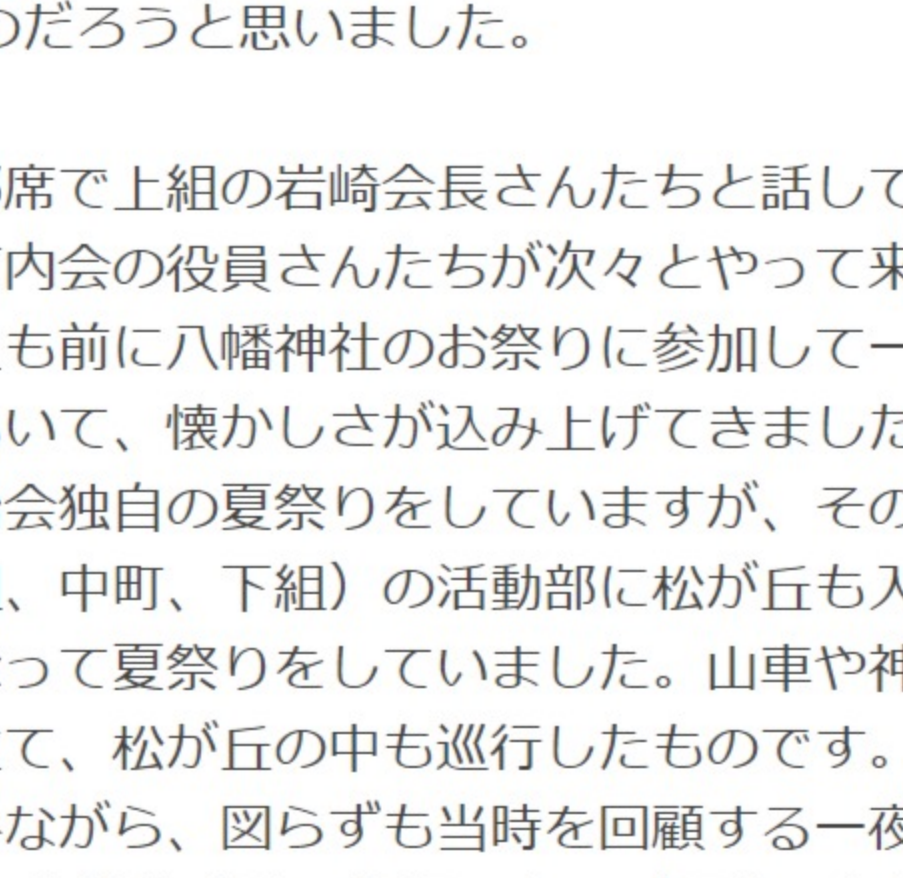
4.その他：久米上組納涼祭

去る8月4日（土）の夕刻、久米上組町内会のご招待を受け、宮下昇理事と上組の「納涼祭」に行ってきました。初めて見せていただきましたが、松が丘の「夏祭り」とは規模や内容が全く異なり驚かされました。



＜「歩行者天国」の賑わい＞

驚きのまず第一は会場です。「スーパーあまいけ」近辺の路上が歩行者天国のようになっておりそこが会場で、その両側に夜店が多数並んでいました。町内会の予想では参加者数4,000人とのご予定でしたが、それ以上の人たちがいたと感ずるほど賑わっていました。道路は、東側は「くらづくり本舗」あたり、西端はトコスチ西100m辺りで車両通行止めになっていました。本部席は何と、開通を待つばかりになっている国道463号バイパスに設けられていました。



＜子供たちのフラダンス＞

＜子供のフラダンスを楽しむ観客＞

驚きの第二はその内容です。盆踊りを中心としたようなものではなく、本部席横に設けられたステージ（演舞台）での公演・ショーが目玉でした。プログラムの1番目は、幼稚園年長組と思しき小さな子供たちから小学校高学年の子供たちのフラダンスでした。大人の演奏に合わせ、全員が可愛い笑顔で楽しそうに踊っている姿を目の当たりにして、感動のあまり目が潤んでしまいました。ステージの前にはブルーシートが敷かれ、親子連れを含めた大勢の観客がショーを楽しんでいました。

第三は、夜店が町内会のものだけでなく、「スーパーあまいけ」や和風居酒屋「来人喜人(きときと)」、「くらづくり本舗」なども出していたことです。「トコスチ」近くのクリーニング店の斜め前にPOLA化粧品の営業所がありますが、なんとエステの夜店(?)を出していました。こうしたことが相乗効果を出して賑わっているのだらうと思いました。



本部席で上組の岩崎会長さんと話していると、吾妻地区の町内会の役員さんたちが次々とやって来て、中には25年以上も前に八幡神社のお祭りに参加して一緒に神輿を担いだ人もいて、懐かしさが込み上げてきました。今こそ松が丘自治会独自の夏祭りをしていますが、その頃は久米地区（上組、中町、下組）の活動部に松が丘も入れてもらい、一緒になって夏祭りをしていました。山車や神輿は八幡神社で組み立て、松が丘の中も巡行したものです。上組の納涼祭を楽しみながら、図らずも当時を回顧する一夜となりました。岩崎会長はじめ上組町内会の皆さんに改めて納涼祭成功のお祝いと、ご招待いただいた感謝をお伝えしたいと思います。

副会長 桑原洋二郎

コメント

4.その他：平成24年度 松が丘クラブ「七夕祭り」～98歳のご婦人も元気に参加～

8月3日（金）正午より、平成24年度の松が丘クラブ「七夕祭り」が松が丘中央会館で開催されました。連日猛暑が続く中、この日も35℃を超える暑さでしたが54歳の皆さんが元気に参加されました。会場には、当日の朝切り出せる暑さ青竹に、願いや気持ちを書き込んだ短冊、紙リング、千羽鶴等の飾りに加え、東日本大震災の復興を願う飾りも取り付けられました。

開始1時間前に会場にいらっしゃった方もおられ、15分前には参加予定者全員が揃っていました。皆さんの「七夕祭り」を待ち望んでおられた気持ち伝わってきました。参加者の最高齢者は98歳のご婦人でしたが、表情や立ち居振る舞いからはずもそのようなお年には見えませんでした。



＜青竹に吊るされた飾り＞

佐藤裕能会長や来賓の加藤芳夫氏ご挨拶、新会員の紹介、6～8月生まれの子供への誕生祝い品贈呈などセレモニー的な次第が続いた第1部の最後は、1丁目の岩崎豊さんの乾杯で締め括られ、食事会に移りました。親しい方々が同じテーブルに集まったせいか、大いに歓談が進んだようです。



＜会長挨拶＞



＜来賓・加藤自治会長挨拶＞

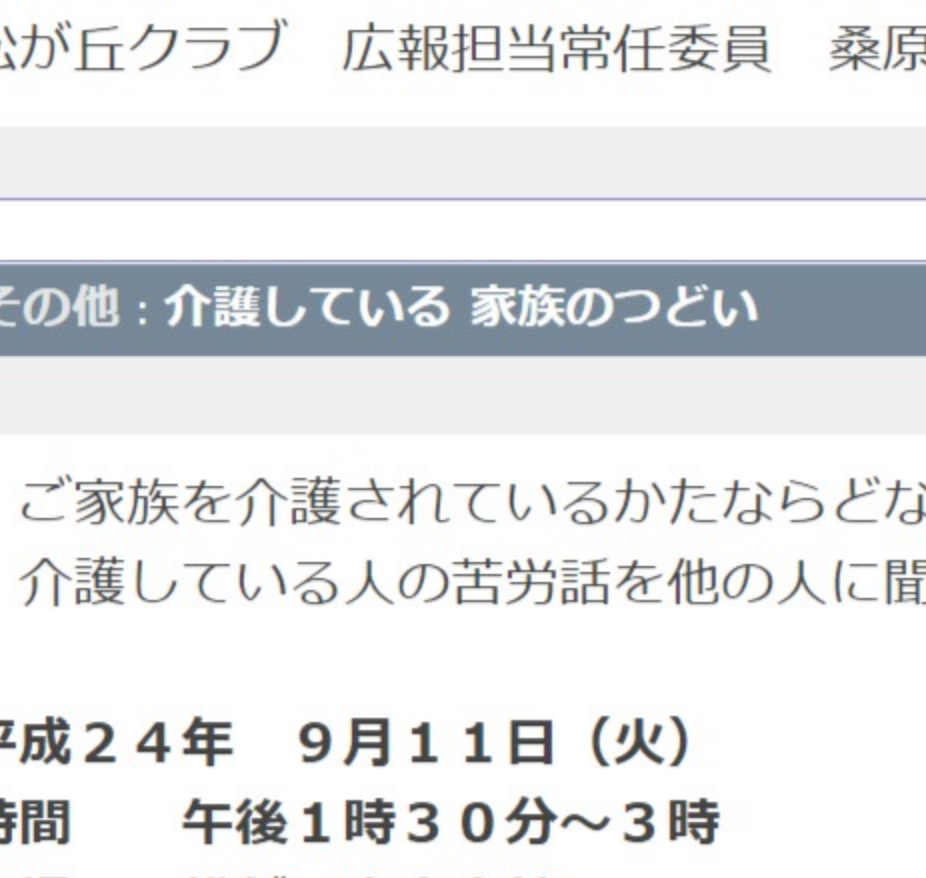


＜誕生祝い品贈呈＞



＜乾杯＞

1時頃には第2部が始まり、布田尚子副会長の司会進行の下、踊りや歌のアトラクション、カラオケなどで会場は大いに盛り上がりました。カラオケでは92歳の女性が「涙の連絡船」を歌われましたが、よく通る声で高音まで実に綺麗な歌い振りでした。



＜有志の合唱＞



＜有志の踊り＞



＜笙生会の三味線と歌＞



＜92歳熱唱＞

最後は全員で「炭坑節」と「青い山脈」を歌いながら踊りました。皆さんお元気で深刺とした顔をしておられ、シニアパワーの力強さを改めて確認した思いでした。松が丘のシニア、万歳！！



＜最後に「青い山脈」歌って踊る＞

松が丘クラブ 広報担当常任委員 桑原洋二郎

コメント

4.その他：介護している 家族のつらい

ご家族を介護されているかたならどなたでも参加できます。介護している人の苦労話を他の人に聞いてもらいませんか。

平成24年 9月11日（火）

時間 午後1時30分～3時

会場 松が丘中央会館



松が丘たすけ愛の会 星野

コメント